

お名前 大北 幸松 (おおきた こうまつ)

ご住所 度会郡玉城町

発生時にいた場所 自宅

当時の年齢 6歳半

まだ小学校に入る前の冬の事です。当時私の家は農家でしたが、男手がなく祖母の実家から水田や畑を耕しにおじさんが手伝いに来てくれていました。昼食のあと祖母が畑に見に行く様に言われく 一つをはいた時、北の方からゴーと言う地鳴りがして来て家がぐらぐら ミシ、ミシとゆれ始めました。

すぐに家をとび出し 村の広場へ行こうと表に出て走り始めた時、前の家の倉の屋根の「オニカワラ」が目の前に落ちて来ました。ゆらゆらとしながらやっと広場まで来たら、広場に立っていた「石とうろう」が 2 個共倒れて来ました。又左側の高さ 2m 位いの石垣もくずれて 大変な状態でした。その後の事は余りよく覚えていませんが すごく長かった様に思います。その後はひんぱんに余震があり 毎日ビクビクしていました。やはり地震の時は、落下物、ブロック塀、や石垣 そして建物の周辺などに充分注意しないといけないと思っています。